

施設間情報提供書（抗がん剤） 運用マニュアル

対象患者：外来で注射の抗がん剤を受けておられる患者
（主に2～4週に1回投与のレジメンを対象）

保険薬局における流れ

1. お薬手帳に情報提供書シールを貼付していることを確認する。
（文書が患者の目に触れたくない場合は、情報提供書を封入してお渡ししています）
2. 当院の施設間情報提供書を基に服薬指導・電話時に得られた情報は、施設間情報提供書の該当する項目に記載。記載方法は施設間情報提供書の書き方を御確認下さい。
 - ・塗りつぶしてある項目に該当→病院へ直接電話（代表:072-781-3712）
 - ・上記以外の項目→施設間情報提供書を薬剤部へFAX（072-781-3767）
3. 医師に確認後、緊急で対応が必要な場合は病院より患者へ直接連絡します。
次回受診時で対応が可能な場合は、対応の結果を次回の情報提供シールに記載して貼付します。
4. 副作用を確認する時期の目安
 - 1～3クール目：各クールの投与後4～6日目の間に1回
 - 4クール目以降：新規の支持療法が追加になったクールの投与後4～6日目の間に1回

施設間情報提供書の使用について

施設間情報提供書は「殺細胞抗がん剤」、「分子標的薬」、「免疫チェックポイント阻害剤」の3種類あります。抗がん剤の種類によって該当する情報提供書を参考に、問診及び記載をして下さい。異なる種類の抗がん剤同士を併用する場合は、それぞれの情報提供書を参考に問診及び記載をして下さい。分子標的薬の情報提供書は、薬剤によって細分化されています。該当する薬剤の項目のみ使用して下さい。ただし、エンハーツ・カドサイラは分子標的薬以外に化学療法の情報提供書も使用して下さい。

例) DOC+RAM→「殺細胞抗がん剤」、「分子標的薬」の情報提供書を使用

FP+^Λ ム^Δ リズ マ[▽] →「殺細胞抗がん剤」、「免疫チェックポイント阻害剤」の情報提供書を使用

○使用する情報提供書（R3.1月現在の採用薬剤ごと）

「分子標的薬」→アービタックス、ベクティビックス、アバスチン、サイラムザ、ザルトラップ
トラスツズマブ、パージェタ、カドサイラ、エンハーツ、トーリセル

「免疫チェックポイント阻害剤」→オプジーボ、キイトルーダ、テセントリク、ヤーボイ
イミフィンジ

「殺細胞抗がん剤」→シスプラチン、パクリタキセル、カルボプラチン、オキサリプラチンなど

※また、アクテムラ・オレンシア・レミケードなどの生物学的製剤は対象外

ご意見、ご要望、質問などがございましたら、下記の連絡先までご連絡ください。

薬剤部化学療法担当まで（電話：072-781-3712 FAX：072-781-3767）